

## 平成19年度調査と関連する設問の状況

本調査の設問に関連のある平成19年度調査における設問を掲載し、各年度の正答率の状況を北海道及び全国と比較しています。関連する設問の抽出に当たっては、「平成20年度全国学力・学習状況調査解説資料」(文部科学省)を参考としています。

### < 小学校算数 >

[平成20年度]

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
		北海道(公立)	全国(公立)	正答率の差
A1(1)	132 - 124を計算する	90.8	93.0	-2.2
A1(2)	52 × 41を計算する	83.3	86.5	-3.2
A1(4)	68.4 ÷ 36を計算する	69.0	76.2	-7.2
A1(5)	3 + 2 × 4を計算する	60.1	70.9	-10.8
A5	底辺8cm、高さ6cm、斜辺7cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	81.6	85.2	-3.6

[平成19年度]

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
		北海道(公立)	全国(公立)	正答率の差
A1(1)	28 + 72を計算する	97.7	98.3	-0.6
A1(2)	27 × 3.4を計算する	81.4	85.5	-4.1
A1(4)	12 ÷ 0.6を計算する	61.2	72.7	-11.5
A1(7)	6 + 0.5 × 2を計算する	55.0	68.9	-13.9
A5(1)	底辺4cm、高さ6cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	94.3	96.0	-1.7
B5(3)	長方形の形をした公園と、平行四辺形の形をした公園について、面積が広い方の公園を答え、その理由を説明する	13.8	17.9	-4.1

「数と計算」においては、どちらの年度も、全国と比べて、正答率の差が5ポイント以内の設問が2問、5ポイント以上が設問が2問となり、2年間にわたって同様の傾向が見られる。  
 「量と測定」においては、どちらの年度も、全国と比べて、正答率の差が5ポイント以内の設問となり、2年間にわたって同様の傾向が見られる。

### < 中学校数学 >

[平成20年度]

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
		北海道(公立)	全国(公立)	正答率の差
A1(3)	$2 \times (-3)^2$ を計算する	64.0	71.4	-7.4
A2(1)	$(5x - 8) - 2(x - 3)$ を計算する	79.6	82.5	-2.9
A2(2)	$a = 4$ 、 $b = -3$ のときの式 $a$ $b$ の値を求める	61.9	70.7	-8.8
A2(3)	$n$ を自然数とすると、いつでも奇数になる式を選ぶ	68.7	72.1	-3.4
A2(4)	等式 $x + 2y = 6$ を、 $y$ について	53.1	53.9	-0.8
A3(1)	$-5x + 7 = -x + 31$ を解く	73.4	77.8	-4.4
A3(4)	連立方程式 $y = 3x - 1$ 、 $3x + 2y = 16$ を解く	71.9	76.7	-4.8
A5(1)	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	59.3	65.6	-6.3
A5(2)	円錐と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ	48.1	51.4	-3.3
A6(3)	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	59.6	64.7	-5.1
A7	平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す	51.9	57.3	-5.4
A8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	55.8	57.6	-1.8

[平成19年度]

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
		北海道(公立)	全国(公立)	正答率の差
A1(3)	$2 \times (-3)^2$ を計算する	84.3	88.3	-4.0
A2(1)	$(2x + 7y) - 2(x - 3y)$ を計算する	65.8	72.9	-7.1
A2(2)	$a = 5$ 、 $b = -4$ のときの式 $3a + 5b$ の値を求める	78.7	83.1	-4.4
B2(1)	連続する3つの自然数の和の式をよむ	50.1	54.8	-4.7
A2(4)	$2x + 3y = 9$ を $y$ について解く	53.0	55.9	-2.9
A3(2)	$4(x + 5) = 80$ を解く	79.8	82.9	-3.1
A3(4)	連立方程式 $5x + 7y = 3$ 、 $2x + 3y = 1$ を解く	67.3	71.9	-4.6
A5(1)	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	60.8	65.9	-5.1
A5(4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	33.4	36.5	-3.1
A6(2)	円周角から中心角を求める	82.5	85.4	-2.9
A6(3)	平行四辺形になるための条件を表した記号をもとに、正しく述べられた文を選ぶ	61.3	66.4	-5.1
A7	証明の意義や必要性について、正しいものを選ぶ	72.8	72.9	-0.1

「数と式」においては、全国と比べて、正答率の差が5ポイント以上の設問が平成20年度で2問、平成19年度で1問、それ以外の設問は5ポイント以内となり、2年間にわたって同様の傾向が見られる。  
 「図形」においては、全国と比べて、正答率の差が5ポイント以上の設問が平成20年度で3問、平成19年度で2問、それ以外の設問は5ポイント以内となり、2年間にわたって同様の傾向が見られる。